

緊急地震速報の受信端末及び配信に関する検討部会の開催について

開催の趣旨

平成21年12月1日に実施した緊急地震速報訓練において、福岡市交通局では訓練報を受けた受信端末が実際の地震の場合と同様に動作し、地下鉄が想定外に自動停止する事案が発生した。この訓練では、緊急地震速報の伝達や利用において、本物と訓練報を区別できない受信端末が使用されている、配信事業者において利用者ごとの配信・未配信の設定ができない等、受信端末や配信において必ずしも十分な機能を有していない、機能に見合った利用がなされていないなどの課題が明らかになっている。

これらの課題への対処として、緊急地震速報の利用目的にかなった端末機能及び配信能力について記した「緊急地震速報を適切に利用するために必要な受信端末の機能及び配信能力に関するガイドライン(仮称)」(以下「ガイドライン」という。)を策定し、策定後は、事業者にはガイドラインに沿った端末の設計・製造や配信、利用者にもガイドラインに沿った緊急地震速報の端末等の導入や活用を求めることとした。

このガイドラインに関わる専門的な検討を行うために、緊急地震速報評価・改善検討会運営要綱 第6条の規定に基づき、標記部会を開催する。

なお、標記部会での検討結果については、緊急地震速報評価・改善検討会に報告する。

検討事項

緊急地震速報の受信端末や配信に係る課題の抽出・整理
ガイドラインの部会案の作成及び実効性確保の方策に関する検討

部会委員構成・日程

緊急地震速報の受信端末及び配信に関する検討部会 部会委員構成

	氏名	職名
部会長	中森 広道	日本大学文理学部社会学科 教授
部会委員	小豆澤 幸照	日本百貨店協会 常務理事
部会委員	加藤 芳夫	財団法人気象業務支援センター 配信事業部長
部会委員	上村 良澄	株式会社先端力学シミュレーション研究所 理事
部会委員	国崎 信江	危機管理アドバイザー
部会委員	鷹野 澄	東京大学 大学院情報学環 総合防災情報研究センター 教授
部会委員	宮下 直人	東日本旅客鉄道株式会社 執行役員鉄道事業本部 安全企画部長

部会委員は 50 音順

ガイドライン策定に係る日程（案）

- 6月11日 第1回検討部会の開催
 - 受信端末や配信に係る課題の抽出・整理
 - ガイドライン(素案)の検討
- 7月頃 ガイドライン(案)に関しての一般からのご意見募集(1ヶ月程度)
- 9月頃 第2回検討部会の開催
 - ガイドラインの部会案の決定
 - 実効性確保の方策に関する検討
- 10月頃 緊急地震速報評価・改善検討会の開催
 - ガイドラインの決定

運営要綱

別紙1のとおり